

収入見込みに関する証明

申請者	学籍番号	
	氏名	

就職・転職・失業・減収等の事由があり、令和5年と令和6年で収入が大幅に異なる方のみ、下記表を作成してください。

対象者氏名		申請者との続柄	
◆令和6年, 令和7年中に発生した収入増減に関する事由の説明	例1) 令和6年9月に父が転職し、年収が〇〇円から〇〇円となった、など		

- ・令和6年の収入の証明書は必ず添付の上、この書類も作成してください。
- ・令和6年1月以降に就職・転職した場合は、勤務先発行の「令和6年収入見込み証明書」又は直近までの給与明細を貼付
- ・失業給付を受けた（受けている）方は、金額のわかる「雇用保険受給資格者証」表裏コピーを添付

◆令和7年の収入（所得）について

1月～3月までの収入（実際の収入を記入）

令和7年	収入（所得）	状況（○で囲む）				状況説明（就職・転職・退職など）
1月	円	失業中 （給付あり）	失業中 （給付なし）	就労中	その他	
2月	円	失業中 （給付あり）	失業中 （給付なし）	就労中	その他	
3月	円	失業中 （給付あり）	失業中 （給付なし）	就労中	その他	
小計（A）	円					

4月～12月の収入見込み計算※（計算式を記入してください）

賞与（見込可）	円
小計（B）	円
令和7年1～12月の収入見込み額	円

※4月以降の収入見込みの計算方法

- （1）就労中の場合⇒現在の勤務先等からの給与明細に記載の支給額をもとに、4月以降の収入見込みを計算
（例）1～3月の平均支給額が15万円の場合：15万×3か月＝45万円に適宜賞与見込額を加算⇒小計（B）へ
- （2）失業中の場合⇒雇用保険受給資格者証に記載されている基本手当日額と所定給付日数をもとに、支給済額を除いた今後の支給見込み額を計算⇒小計（B）へ
※再就職が決定している場合は、その収入見込み額も記入
- ←小計（A）＋（B）または収入見込み証明書の金額